

海岸・河川の南海トラフ地震・津波対策の促進

～浦戸湾の三重防護の推進～

◆県人口の約45%が集中し、都市機能が集積する県都・高知市の被害最小化に向けた浦戸湾（高知港）の地震・津波対策

浦戸湾の地震・津波対策（三重防護+二級河川）

- ①防波堤の延伸と粘り強い化
- ②浦戸湾湾口部での防波堤整備と海岸堤防の耐震対策・嵩上げ
- ③浦戸湾内の海岸堤防の耐震対策・嵩上げ
- ④浦戸湾に流入する河川堤防の耐震対策・嵩上げ
- ⑤直轄高知海岸の海岸堤防の地震・津波対策



〔三重防護及び河川堤防などの耐震・嵩上げによる整備効果〕

現状で南海トラフ地震が発生すると...

- ◆2,800haの長期浸水
- ◆約1ヵ月半の長期浸水
- ◆12万人の長期避難

三重防護及び河川堤防などの対策が完了すると...

- ◆L1津波の進入を防止し、浸水被害がゼロに！
- ◆L2津波に対しても長期浸水が10日あまりで解消され、社会経済活動の早期の回復が可能に！

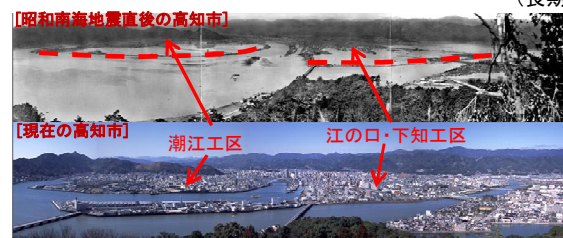
(H29までに、海岸・河川堤防について重点区間①の完了、排水機場9箇所のうち8箇所の耐震化を完了)



凡例

- H29(2017)までの整備箇所
- H30(2018)までの整備箇所
- R1(2019)予定箇所
- R2(2020)予定箇所
- R3(2021)以降整備箇所

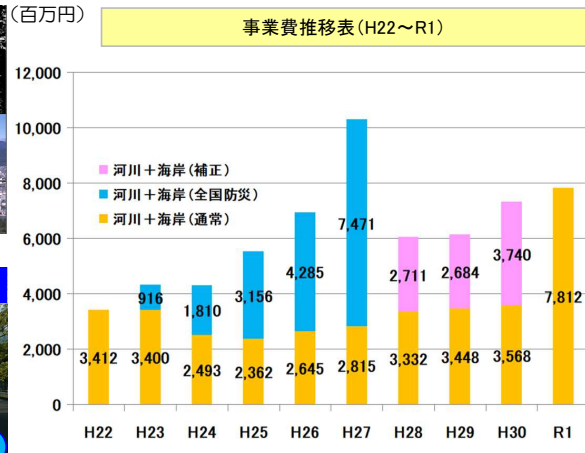
長期浸水面積 2,800ha
120,000人が影響！



〔過去にも繰り返されてきた津波による浸水被害〕



(長期浸水対策のため、河川堤防については耐震対策を先行実施中)



《政策提言》

- ・特に緊急性・重要性の高い一連区間の地震・津波対策を早期に完了させるため、国直轄事業・県事業ともに**予算の重点配分**をお願いします。
- ・また、平成30年度に創設された「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」についても、引き続き、**確実な事業推進のための予算配分**をお願いします。